

アートプロデューサーの役割

一起業家という観点から芸術の社会的価値を検証する

2017年10月25日 | 水 | 19:00-21:00 | 開場18:40 |

大阪市中央公会堂 地下一階・大会議室

アート・プロジェクトをプロデュースするのがプロデューサーの仕事。その思想と仕事の整理が今回の眼目。

創造拠点開発はその重要な要素。そして、草の根創造拠点のネットワーク形成が社会創造に寄与します。アートの固有の価値を社会の要請とどう結びつけていくか?—草の根創造拠点のプロデューサーが創造事業家となるための参考事例として、二人の先人を取り上げます。アーティストやプロデューサーを多数束ねて大仏再建という平和国家実現プロジェクトを推進した重源と、宗教改革の時代にアートと外交を結んで国際平和の実現に寄与したルーベンスの仕事です。さらに、我が大阪の先駆的なクリエイティブ・プロジェクト懐徳堂が全国的なネットワークによって、どれほど社会創造の原動力たり得たかを検証します。

[加藤種男/平成29年度芸術文化魅力育成プロジェクト総合プロデューサー]

★ 「Osaka Creative Archipelago」の若手プロデューサー5組6名と、国内外のアーティストによる展示・音楽ライブ・ワークショップ等のプログラム内容も発表予定です。

参加無料/要申込

定員:80名

申込方法:おおさか創造千島財団HPからお申込みいただくか、下記の問合先までお名前、人数、ご連絡先をお知らせください。

<http://www.chishimatochi.info/found/>

【開催予告】

レクチャー:

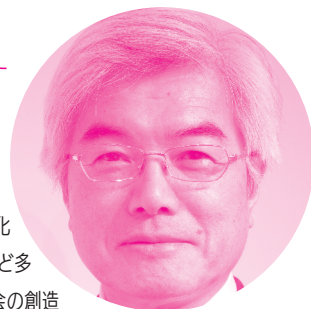
「世界のクリエイティブ拠点から見た、プロデューサー育成事業の成果と課題」

ワークショップ:

「大阪における芸術文化活動の飛躍」

日時 | 2018年1月20日(土)14:00-17:00 | 開場13:40 |

大阪で芸術文化に関する活動をしている方、しようとしている方、大阪の芸術文化を共に考えることに関心をお持ちの方はどなたでもご参加ください。



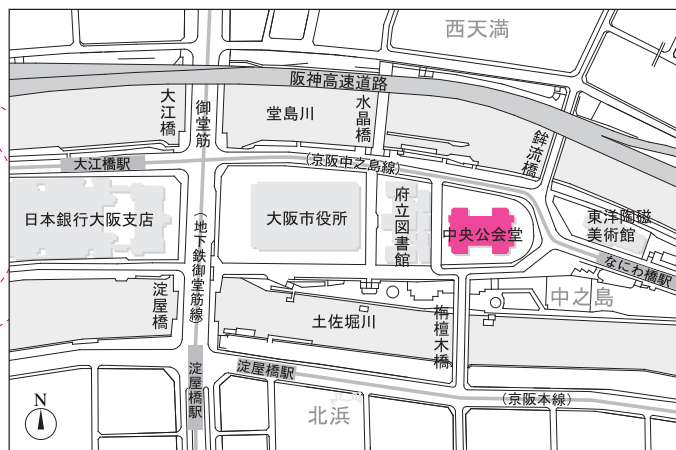
講師

加藤種男(かとう たねお)

クリエイティブ・ディレクター。アサヒビールで芸術文化振興に携り、アサヒ・アートフェスティバル(AAF)など多様なプロジェクトを立ち上げ。また、草の根市民社会の創造的ネットワークを提唱して、アートNPOフォーラムを立ち上げた。すべての人が創造的になる社会をめざして『創造列島(Creative Archipelago)』を提唱している。また、横浜市芸術文化振興財団専務理事などを歴任し、創造都市横浜の基礎を築く。企業メセナ協議会専務理事などを歴任し民間版のアーツカウンシルを推進し、文化政策の提言を行い、国及び自治体のアーツカウンシル設立を応援。2008年度芸術選奨文部科学大臣賞(芸術振興部門)受賞。

会場アクセス | 大阪市中央公会堂 | 大阪市北区中之島1-1-27 |

□地下鉄御堂筋線「淀屋橋」駅下車1番出口から徒歩約5分 □京阪電車「淀屋橋」駅18番出口から徒歩約5分 □京阪中之島線「なにわ橋」駅下車1番出口すぐ



「芸術文化魅力育成プロジェクト」とは

大阪アーツカウンシルからの提言を踏まえ、平成27年度から大阪府と大阪市が共同で、府内文化事業の活性化に向けて実施している事業です。今年度は、「Osaka Creative Archipelago(オオサカ・クリエイティブ・アーキペラゴ)大阪府内に点在する多彩なクリエイティブ拠点をつなぐ試み」として、平成29年10月から平成30年1月にかけて、大阪府内に点在する若手プロデューサーの活動拠点を中心に、大阪の芸術文化の魅力発信する鑑賞プログラムと、今後の芸術文化を担う若手プロデューサーの育成やネットワークの構築につながる育成プログラムを実施します。

*Archipelago…アーキペラゴ。多島海、群島、列島を意味する言葉